

## 平成 28 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座教授 教授
氏名 Name	大澤 孝
専門分野 Academic Field	古代テュルク語碑文の調査研究と古代テュルク系遊牧民の歴史と文化

主たる研究テーマ Principal Research Subject	古代テュルク語碑文・遺跡の現地調査を通して見た古代テュルク系遊牧民の歴史と文化
<p>本年度では 9 月 2～9 月 24 日に、モンゴル科学アカデミー歴史学研究所考古学研究センターとの学術協定に基づき、モンゴル東部のスフバートル県テブシンシレーのドンゴインシレー遺跡・碑文について、遺跡を発掘調査し、そこから出土した突厥文字碑文の解読のための基本データや、被葬者を埋葬もしくは追悼する際の犠牲獣として埋葬された動物骨や（木）炭などの出土遺物の発掘調査を行ない、遺跡全体のプランの再構築とその作成過程を復元するための基本データの収集に努めた。また、碑文内容についても同時代の碑文や漢文文献との比較を通して分析を行った。また当地に遺跡が建造された立地条件や当時の気候などについても、現地の専門家研究者と協力して、解明にむけてのデータを収集すべく努めた。発掘後には、モンゴルの共同研究者及びモンゴルの共同調査機関および関係者と合同協議会を実施し、今回の成果で得られたデータについて知見を共有し、今後の調査計画について協議を行った。</p> <p>また、古代クルグズ可汗国の定住要素に関する調査研究としては、6 月中 10 日間ほど、ロシア連邦ハカス共和国を訪れ、アバカン市にあるハカス言語文学歴史研究所の考古学者と共同して、ハカス国のアスキス地方にある紀元後 8～11 世紀頃の古代クルグズ遊牧民に関する墓碑銘、青銅器時代以降の岩壁画やタムガなどについて共同調査を実施し、当該地方の歴史文化を復元するための関係データを収集した。また 11 月末にもロシア連邦のノボシビルスクやバルナウル地方で当該地方の博物館を訪問し、関係資料の蒐集に努めた。</p>	